



国際太平洋研究センター

Winter 2013 / 2014

Profile

IPRCを旅立ってから

横浜国立大学教育人間科学部 准教授
筆保 弘徳 (ふでやす ひろのり)



筆保弘徳准教授

研究者の世界に飛び込んでから6年目、IPRCの博士研究員として研究をするというすばらしい機会を頂きました(2008年1月~2010年3月)。それまで私は、京都大学で博士課程を取得した後、防災科学研究所や海洋研究開発機構で博士研究員として台風の研究を続けていました。そして、「もっと勉強をして、いつか台風の本を出版したい!」という壮大な夢を持つようになっていました。

IPRCでは、Yuqing Wang 教授と台風力学の研究を行いました。Wang 教授の献身的なお力添えがあり、在任中には4本の論文を投稿することができました。しかし、その研究成果以上に、ハワイ大学で台風の講義を受講させていただいたことが、私にとって大きな力になりました。学生に混じりながら夢中でとったノートは、今でも宝物です。

現職の横浜国立大学の准教授に着任してから、幸運にも本の執筆依頼が舞い込んできました。研究者向けや一般の方向けの台風に関する3冊の本を編集・執筆することができました。IPRCに雇っていただけなければ、Wang 教授と出会えなければ、とうてい叶わなかった夢だったでしょう。

著書:

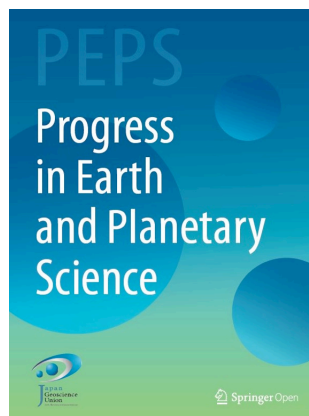
- 1) 気象研究ノート「台風研究の最前線・下巻」(日本気象学会; 2013年出版)
- 2) 「CYCLONES FORMATION, TRIGGERS AND CONTROL」(NOVA Inc.; 2012年出版)
- 3) 「天気と気象についてわかっていることないこと」(ベレ出版; 2013年出版)

Appointment

PEPS創刊

日本地球惑星科学連合 (Japan Geoscience Union; JpGU) は、2014年1月に学術雑誌、「Progress in Earth and Planetary Science (PEPS)」を創刊する予定です。IPRCの Kevin Hamilton 所長はこの雑誌において編集委員、さらに専門諮問委員に任命されています。この雑誌の特徴は、地球惑星科学全体に関わる題材を扱い、複合的な観点、統合的概念の創出をめざし、またオープンアクセス電子雑誌であるため、誰でも無料で自由に閲覧することができます。(※PEPSのホームページから引用)

<http://progearthplanetsci.org/>



PEPS創刊ジャーナル

(脚注) 将来の国際的な科学技術人材を育成することを目的し、理数系教育に重点を置いた研究開発を行う、文部科学省の事業。全国で201校が指定を受けている(平成25年度)。

Visitors

島根県立益田高等学校の生徒・先生がIPRC訪問

昨年に引き続き、IPRCの古恵研究員の母校でもある島根県立益田高等学校を中心とした海外研修団が、スーパーサイエンスハイスクール事業(脚注)の一環として、2013年12月に、ハワイ島のすばる望遠鏡山麓施設などを訪問のち、オアフ島に移動し、二日に互って、ハワイ大学のIPRCと天文学科を訪問されました。



益田高等学校の生徒・先生、
Jan Hafner 研究員と古恵研究員

IPRC訪問では、Jan Hafner 研究員から、東北地方太平洋沖地震に伴う津波によって陸上から流出した漂流物の観測とシミュレーションの講義を受けました。また、古恵研究員が事前に出しておいた地球温暖化の諸問題に関する課題やその他の自主研究を生徒さんに発表してもらい、古恵研究員と交え活発な討論が行われました。



Jan Hafner 研究員の講義

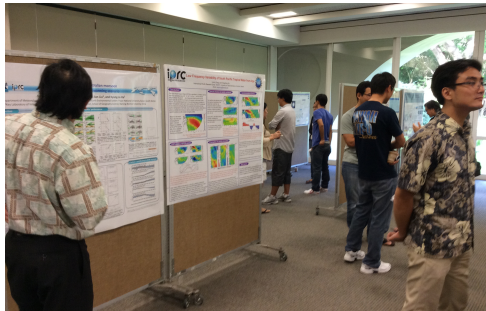


Symposium & Workshop

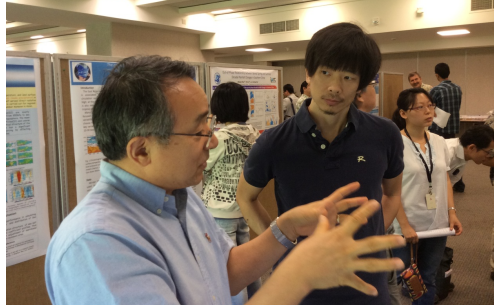
IPRCシンポジウム開催

2013年12月2日、ハワイ大学内のイーストウエストセンターにおいて第13回IPRC年次シンポジウムが開催されました。昨年に引き続き2部構成で、第一部ポスター紹介、ポスターセッション、第二部ポスター紹介、ポスターセッションの順番で行われました。IPRC28名の研究員、専門家が発表しました。今年は翌日にOFES研究集会(次の記事参照)が予定されていたため、日本海洋開発機構 (JAMSTEC) からも研究者が参加され活発な議論や意見交換が行われました。

http://iprc.soest.hawaii.edu/meetings/workshops/2013/2013_12_AnnualSymposium.pdf



年次シンポジウム会場



菊地研究員のポスターにて意見交換を行う様子

OFES研究集会開催



第6回OFES研究集会

2013年12月3日、4日の両日、ハワイ大学内のイーストウエストセンターにおいて第6回OFES国際研究集会および第3回気候システムの大規模計算型モデリングに関する地球シミュレータセンター・IPRC共同研究集会が開催されました。この研究集会はJAMSTECとIPRCが実施するもので、東京大

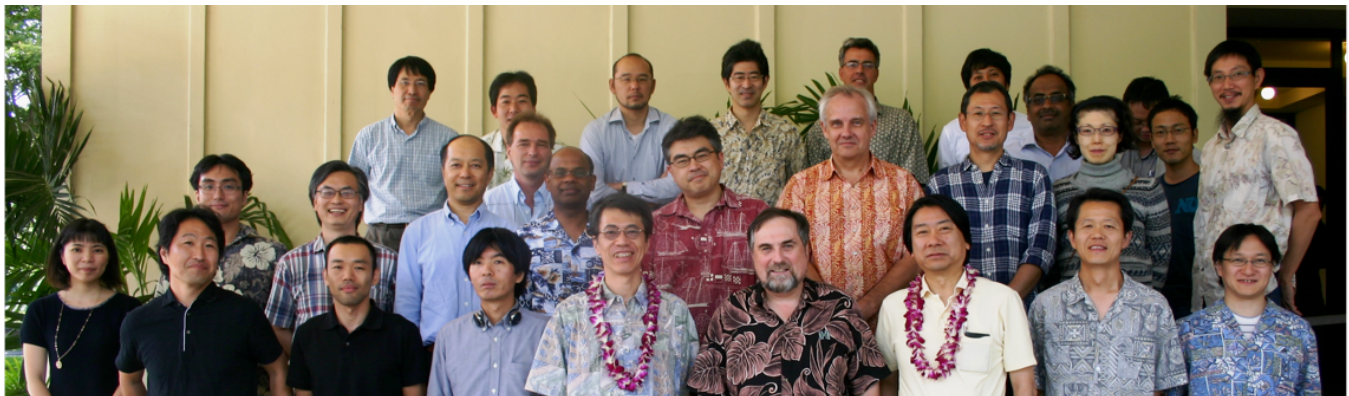
学の中村尚教授による基調講演で始まり、JAMSTEC、東京大学から15名、IPRCから8名、ハワイ大学から1名の研究者による最新の研究結果の発表を行いました。また今後の研究協力の発展を目的とした議論が行われました。

<http://www.jamstec.go.jp/esc/event/ofes-workshop6/>

Renewal

JAMSTEC-IPRC共同研究協定の更新

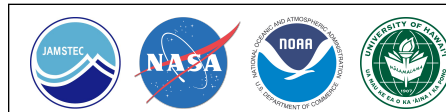
JAMSTECとIPRCは、2007年に始まった協定 (JAMSTEC-IPRC Initiative; JII) に従い、7つの研究課題において共同研究を実施してきました。これは2014年3月で終了し、2014年4月より、新たな協定JAMSTEC-IPRC Collaborative Studies (JICS) に移ります。2013年12月5日、6日の両日、JAMSTEC側から、現在のJIIのまとめ役である升本順夫プログラムディレクターと新たなJICS研究代表者がIPRCを訪問され、IPRCの研究代表者と、協定に基づく活動について議論しました。具体的には、2014年4月以降の研究計画を詰め、また、この計画のための追加資金を米国の各種機関に申請する案を検討しました。



第6回 OFES研究集会参加者

ハワイ大学国際太平洋研究センター
International Pacific Research Center (IPRC)
School of Ocean and Earth Science and Technology
University of Hawai'i at Mānoa
1680 East-West Road, Honolulu, HI 96822 USA
<http://iprc.soest.hawaii.edu>

IPRCは、アジア・太平洋地域を中心に地球環境とその変動に関する研究を行っています。このニュースレターでは、日本に関連の深いトピックスを中心に紹介しています。ニュースレターの送付または停止の希望、住所変更等については、rie3@hawaii.edu までお知らせください。



IPRCは、独立行政法人海洋研究開発機構、NASA、NOAA、ハワイ大学から研究費援助を受け、研究活動を実施しています。